



第72回

全国植樹祭

木を植えよう びわ湖も緑のしずくから

2022年6月5日(日)

開催されました

うおーたんとももり



大会宣言



KOUGA彩風舞人と甲賀忍玉太鼓団の皆さん



代表者記念植樹



未来を担う各世代からのメッセージ

滋賀ならではの 式典とアトラクション！

天気にも恵まれた6月5日(日)、甲賀市甲賀町大久保の鹿深夢の森を主会場として、サテライト会場3ヶ所、一般植樹会場3ヶ所に、約12,700人が集いました。

プロローグアトラクションでは、「森林・びわ湖・人のハーモニー」をテーマにした県民創作劇を通じて、びわ湖から森林へと理解を深め、その関係性から「森林を守る重要性」を対話形式による語りと映像、創作ダンスで提言されました。

また、開催市である甲賀市長の挨拶や、大会チームなどを制作された作者の方々への感謝状贈呈が行われました。

記念式典では、お野立所のモニターから天皇皇后両陛下がご臨席され、参加者は日の丸を振って歓迎しました。

天皇陛下は「この大会のテーマである『木を植えよう』びわ湖も緑のしずくからにふさわしく、人々が協力して、水源となる森林を守り、育むことにより、美しく豊かな水が生まれる活動が、滋賀の地から全国へ、そして世界へ広がり、将来の世代へとつながっていくことを願います」と述べられました。

三日月知事も「県民が一丸となって森林を守り、活かし、支えることで緑豊かな森林を未来に引き継ぐ」と挨拶されました。

その後、未来の森づくりを担う「緑の少年団」33団、129人が本県各地から参加、両陛下のお手植え・お手播きの樹種の説明、代表者記念植樹の介添え、苗木の贈呈など、重要な役割を担う姿が見られました。また、私も代表者記念植樹を行いました。

式典のナビゲーターに滋賀ふるさと観光大使の歌手西川貴教さん、滋賀県出身の俳優安蘭けいさんを迎え、森林を守り、活かし、それを支える県民の誓いとして「未来への森林との約束」を発信し、パフォーマンスで大会テーマである「木を植えようびわ湖も緑のしずくから」を表現しました。

地元の甲賀忍玉太鼓団による太鼓演奏やKOUGA彩風舞人などのアトラクションがあり、次世代につながる森林に思いをはせて、碧く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次世代につなぐ決意や思いを響かせる、感動のブランドファイナリとなりました。



7月定例会議 一般質問

ネット販売ECの活用と ノウハウの蓄積について



Q 楽天市場やYahooショッピング、2つのECモールで実施された事業の概要について。

A 知事 コロナ禍の影響を受けている県内事業者に対する販売機会の創出や販路拡大の支援を行うため、最大30%割引となるクーポンを提供するウェブ物産展を開催しました。

楽天市場の「滋賀WEB物産展」は令和3年8月から令和4年2月にかけて合計4回開催し、延べ448事業者、延べ9,340商品の出品がありました。

Yahooショッピングの「滋賀県当地モール」は、令和3年10月から令和4年2月にかけて合計3回開催し、延べ292事業者、延べ10,298商品の出品がありました。

Q 2つのECモールの昨年度の実績について。

A 知事 「滋賀WEB物産展」は、合計4回の開催で約1億4千6百万円の割引クーポンを提供し、売上総件数が約7万6千件、売上総額が約5億4百万円です。

「滋賀県当地モール」は、合計3回の開催で約7千2百万円の割引クーポンを提供し、売上総件数が約7万1千件、売上総額が約2億6千8百万円です。

Q 売れ筋品目、購入者層など販売状況の内訳について。

A 知事 「滋賀WEB物産展」は、売上全体の約93%が「食品」で「米」が約41%、「肉」が約22%です。

「滋賀県当地モール」は、売上全体の約90%が「食品」で、「米」が約30%、「肉」が約26%です。購入者の性別は、2つとも女性が約7割、男性が約3割、年齢別は、「滋賀WEB物産展」は、30代が最も多く、次いで40代、「滋賀県当地モール」は、40代が最も多く、次いで50代です。

Q 売れている店舗の特徴など、どのように分析されているのか。

A 知事 売上の高かった店舗は、それぞれのECモールの客層

に合わせた効果的に写真を使うなど商品ページの作成に工夫があったり、期間限定の増量キャンペーンなどを実施したりしています。

Q 訴求力の高い商品紹介や顧客の興味を惹く販売企画といった創意工夫が、売上の増加につながったと考えます。

A 知事 事業を通じて得られたノウハウを今後どのようにフィードバックさせるのか。

A 知事 今回実施したウェブ物産展で得られた効果的な商品ページの作成や広告の打ち出し時期などといったノウハウ、購買層の分析結果などはびわこビクターズビューローが実施するセミナーや勉強会等を通じて、県内事業者にも広く共有していきたいと考えます。

Q 昨年度、農政水産部みらいの農業振興課が「Yahoo!のWebサイト」を開設し、対象商品を30%オフで購入できるクーポンを期間限定で付与された。この「滋賀の幸」の事業の概要について説明を。

A 知事 この事業では3割引クーポンを活用した販売促進を目的に、生産者等の新規出店を支援しています。

世界農業遺産をめざす本県の農業水産業の取り組みを、意識の高い消費者層に訴求し、今後の継続的な購入と消費拡大に繋げることを目的に、第1弾が8月～9月中旬、第2弾が10月～11月中旬の延べ3か月実施しました。

Q 「滋賀の幸」の昨年度の実績について。

A 知事 参加事業者第1弾は44者、第2弾が54者。合計売上げは約2億7,600点、売上金額は約1億4,700万円です。

またホームページの立ち上げおよび商品のアドバイス等の支援により、10者が新たにホームページを立ち上げたということです。

参加事業者へのアンケートでは、新規顧客を獲得できたとの回答が3分の2あり、コロナで影響を受けた農家の販売支援に繋がった、リピーターを獲得できた、などの声をいただいています。